

ブック村だより

- 心に残った本・人生を変えるきっかけとなった本 岩崎 勇(1)
- 本学コレクション紹介(36)
リスト『著作集』④..... 森岡邦泰(3)
- ぶっくす・なう (4)
- 『戦地の図書館 — 海を越えた一億四千万冊 —』 谷岡一郎
- 『大阪』 初谷 勇
- 『伝統芸能の革命児たち』 下山 晃
- 『移動祝祭日』 河辺 純
- 図書館利用と感染拡大防止—ガイドラインを守りましょう / デジタルデータ閲覧サービスを活用しよう.... (6)
- コロナ禍における図書館サービス / 2020年度 関連委員会報告.....(7)
- 第6回大商大プチエッセイ大賞 受賞作品決定 / LSS(図書館学生スタッフ)募集!...(8)

心に残った本・人生を 変えるきっかけとなった本

総合経営学部 経営学科
特任教授 岩崎 勇

小生は長い間FM福岡のモーニング・ビジネススクールにて稲盛和夫氏や松下幸之助氏(以下、敬称略)の経営哲学についてお話をさせて頂きました。松下幸之助は昭和の経営の神様と呼ばれ、また稲盛和夫は平成最高の経営者といわれています。共に関西に関係が深く、松下幸之助は和歌山市の生まれであり、パナソニックは大阪府門真市に本社があり、また稲盛和夫は京セラを京都で創業しています。このように両者は関西が誇る名経営者です。このように両者が、なぜ経営の神様などと呼ばれるようになったのが問題です。その答えは2人ともしっかりとした人生哲学や経営哲

学を持っているからです。松下幸之助で言えば『実践経営哲学』(PHP研究所, 2001年)であり、稲盛和夫で言えば『京セラフィロソフィ』(サンマーク出版, 2014年)です。経営哲学の基礎となる部分は、各人が持っている人生哲学であり、この人生哲学を経営で実践したのが経営哲学となります。それゆえ哲学のうち最も基本となるものは人生哲学です。そして人生哲学のうち最も重要なものが、どう生きるかという「生き方」です。

今回ご紹介する著書はこの生き方についての本であり、そのタイトルも『生き方 人間として一番大切なこと』(サンマーク出版, 2004年)となっ

ています。周知のとおり、稲盛和夫は60歳代で一度^{とくと}度得度しており、彼の人生哲学は基本的には東洋哲学、特に仏教哲学に基礎をおいています。それゆえ、本書のいたるところにその本質的な真理が述べられています。紙幅の関係上簡単にしか紹介できませんが、その一端を示せば次の通りです。

まず「プロローグ」では、例えば、混迷の時代だからこそ「生き方」を問い直すとし、魂を磨いていくことがこの世を生きる意味であるとして、人生の目的を明示しています。そして、心に描いたものが実現するという宇宙の法則などを説明しています。そしてこれと関連させて第1章「思いを実現させる」では、求めたものだけが手に入るという人生の法則や、運命は自分の心次第という真理に気づくことを求めています。しかも、諦めずにやり通せば成功しかありえないとしています。第2章「原理原則から考える」では、迷ったときの道しるべとなる「生きた哲学」等を説明しています。第3章「心を磨き、高める」では、常に内省せよ、人格を磨くことを忘れるな、働く喜びはこの世の生きる最上の喜びとして、労働によって心は磨かれるとしています。第4章「利他の心で生きる」では、「他を利する」ところにビジネスの原点があり、人類がこれに目覚めた時「利他」の文明が開くとしています。さらに、第5章「宇宙の流れと調和する」では、因果応報の法則を知れば運命も変えられるとし、最後に人のあるべき「生き方」を目指せ、明るい未来はそこにある、として全体が締めくくられています。

このように、本書には普遍的で哲学的な真理ないし事実が示されており、会社経営にとどまらず、日常的な生き方の哲学的な座標軸が示されていま

す。是非一読を薦めたい。

このような稲盛和夫や松下幸之助の哲学的な内容を「幸せ」の方面で再構築したものが、拙著(岩崎勇『幸せになれる「心の法則』』幻冬舎, 2020年)です。本書は単なる表面的なノウハウ本ではなく、深く真の幸せを得ることに関心のある人に是非お薦めしたい。



『生き方：人間として一番大切なこと』
(サンマーク出版, 2004年)
稲盛和夫著

請求記号:159/153
登録番号:0477295



『幸せになれる「心の法則』』
(幻冬舎, 2020年)
岩崎勇著

請求記号:159/196
登録番号:0550579

リスト『著作集』④

ヨーロッパを追われたリストは1825年アメリカに渡った。前年パリでラファイエット将軍と知己になっていたリストは、アメリカ独立革命の英雄でもあるラファイエット将軍がアメリカ大統領に招聘された際、将軍と一緒にアメリカを旅して回る榮譽を得た。リストはアメリカでは農場経営で生計を立てようと思い、小農場を購入したが、乳牛の世話も農作業の経験もないリストは、結局失敗、ドイツ系移民の町でドイツ語の地方紙の編集に携わった。そのとき、国民経済学の教師になるのが望みだと手紙で述べている。

当時アメリカでは工業が起って来た北部は関税引き上げの保護主義を要求し、プランテーションの多い南部は関税引き下げ=自由貿易を主張していた。その中、リストが新聞に載せていた論文が『アメリカ経済学概要』という題名で出版された。ドイツで経験した大陸体制崩壊後の経済危機、ドイツでの保護主義運動を経験したリストは、今度はアメリカのペンシルバニアの保護主義運動に参加して、スミス=セー学派とは違う新たな国民経済学を構想した。これが後の名著『経済学の国民的大系』に結晶していくことになる。

一方リストは、炭鉱と鉄道の事業経営に乗り出す。当時ペンシルバニアでは石炭ブームが起きていたが、リストも自ら地質調査に赴き、炭層を発見している。そして石炭を運ぶための鉄道も建設した。しかしヨーロッパへ帰りたいというリストの願望は抑えがたく、国務長官に働きかけ、米

国領事として追放されたドイツへ行く計画を立てた。大統領もリストをハンブルク駐在の米国領事に指名したが、上院の承認が得られなかった。しかし1832年バーデン大公国の領事に任命され、ヨーロッパへの帰国を果たした。

ドイツに戻ったリストは、アメリカで鉄道を建設した経験から、鉄道敷設の請願書や論文を次々に書いて、ドイツでの鉄道建設を働きかける。当時ドイツは鉄道時代の幕開けであった。ザクセンではリストの論に刺激を受けて、鉄道建設を主張する人たちが商人、官僚の中に現れ、当局も建設へと動き出した。しかしマグデブルク市長も鉄道の計画を請願し、リストを危険な競争相手と見て、これを潰そうと運動し、結局鉄道会社の役員からリストは外された。

リストはジャーナリズム活動も積極的に行い、1834年には週刊大衆紙『国民雑誌』を共同で創刊したが、1年後には共同出資者と不和になり、廃刊。また『国家学事典』の出版を企てたが、編集からは外された。『国民雑誌』廃刊後、今度は単独で1835年『鉄道雑誌』を発行した。これは専門誌としては急速に読者を獲得したが、37年に突然廃刊になった。それはオーストリアで「その筋からの特別のお達しにより」発売が禁止されたからである。メッテルニヒにとってリストは危険なデマゴグであったからである。1836年には甜菜糖てんさいに興味を持ち、2月にはその工場建設計画を考えている。しかし同年秋にはアメリカに残っていた資産を、銀行が破綻したことで失った。以上の経験を糧としていよいよ名著が現れるのである。

(経済学部 准教授 森岡 邦泰)

『戦地の図書館 —海を越えた一億四千万冊—』

単行本(東京創元社,2016.5)、文庫本(東京創元社,2020.11)
モリー・グプティル・マニング 著
松尾恭子 訳

(文庫本)請求記号:019.025/Ma45
登録番号:0553031

1933年5月、ドイツのベルリンで大規模な焚書が行われた。ユダヤ人の思想などを中心とした「世の中に悪しき影響を与える書物」をドイツから消し去るため、各地図書館や大学の棚からもヘレン・ケラー、カール・マルクス、アルバート・アインシュタインなど多くの書が消えていった。

米国が第二次大戦に巻き込まれようとしていた1930年代終わり頃、アメリカでは正反対の運動が起こりつつあった。兵士たちが手軽に読める著書を集め、場合によっては新たに刷り、戦地に送ろうという動きである。ハードカバー中心だったアメリカの出版界は、この運動

によってペーパーバックが増えていく。兵士たちが後ろポケットなどに入れやすく、塹壕の中やケガをして動けない時などの、あり余る時間を読書にあてることが可能となった。

本を燃やす側が戦争に勝たなかったのは、今の我々にとって幸いなことだった。帰還したアメリカ兵たちの学力はかなり高いものとなり、大学で学位を取得しようとする中高年人口は飛躍的に増え、しかも高校卒業したての若者の成績をはるかに上廻っていたという。

このあまり知られていない感動的な話は、最初2016年にハードカバーで出版され、今は文庫で発行されている。本の好きな人は是非。

(学長 谷岡 一郎)



『大阪』

(河出書房新社,2021.1)
岸政彦・柴崎友香 著

請求記号:914.6/Ki56
登録番号:0553769

柴崎友香さんの講演を対面で聴く機会があった。本学図書館が相互協力関係にある東大阪市立図書館が昨春、近鉄河内永和駅前前の商工会議所ビル1階に永和図書館を新設したが、コロナで延びていた開館記念講演会がようやく11月に実現したのだ。

「こんなパーティーの立った演台でお話しするのは初めてです。なかなか東京から新幹線では来れなくて。今日は、大阪でおうどんを食べれるのも楽しみでした。」

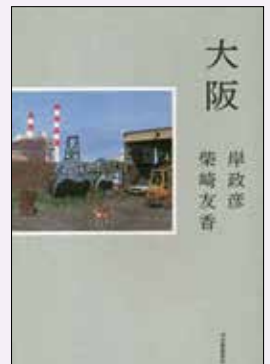
東京に「長期出張」されて15年。新刊小説『百年と一日』(筑摩書房, 2020.)の話題では、長文タイトルの並ぶ33編から、某喫茶店の代継承を描いた1編の朗読もまじえ、創作にまつわる興味深いお話が続いた。

本欄に取り上げるのは、最新刊の『大阪』。大正区生

まれ、市岡高校出身の柴崎さんが、「私のいたころの大阪」と、多感で多難だった児童・生徒時代を経て学生、会社員となった自分との関わりを率直に語ったエッセイ集だ。共著者の岸政彦さんは、長年沖縄と大阪をフィールドに「生活史」を究める社会学者。近年、小説でも知られる。

6編ずつ交互に編まれた二人の筆さばき、活写された時代の空気、よみがえる街の光景に魅了される。ページを繰るのが惜しかった。ふるさとを離れ大阪に来た人、いずれまた大阪を後にする人にはぜひ手にとってほしい。

そして、全国唯一名前に「商業」を掲げ続ける本学の在学生には、事態が落ち着けば、小阪から地続きの大阪へ足を延ばし、登場する人や川、商店街や盛り場の生業や商いを体感してみたい。(図書館長 初谷 勇)



『伝統芸能の革命児たち』

(文藝春秋, 2020.11)

九龍ジョー 著

請求記号:772.1/Ku75
登録番号:0554096

この本では人気漫画の『ワンピース』や『ナルト』が歌舞伎と一緒に論じられ、市川海老蔵や中村獅童、片岡愛之助など若者にも馴染みの有名どころの役者さんと共に、ビートたけしや美輪明宏、ダウタウンなどテレビでいつものように見かける芸人やタレントの名前があちこちに出てくる。歌舞伎役者だけでなく、どこかで聞いたことがあるような落語家や狂言師もずらりと顔をそろえてご登場という形で、大商大の学生さんにはちょっと縁遠いと（一見）思われるような浪曲師やストリッパーを紹介した章もある。どれも、ものすごいオーラを発するよう感じられる見事な写真と共に紹介されている。

そのオーラはどこから来るものなのか？

伝統との確たるつながり、
がその答えである。

なんとなくのつながりは偽物やその場限りの消耗品としてのまがい物しか生まないが、しっかり伝統とつながる役者さんや芸人、嘶家は全く別物、ホンモノ、である。生涯をかけた問いかけや日々連日の精進と切磋琢磨、一流どころとの葛藤や競争や連帯・信頼などが絡むからである。文章は小気味のよい「切れ」があって大変読みやすく、芸の本質や物事を知る時の感受の仕方、構想力や想像力・創作力の秘訣をズバツと感受させてくれる。町づくりや商品開発に興味ある人や自分自身を色々な方向に向けて成長させていきたいと願う人、毎日わくわくしたい人に目の覚めるような刺激をたくさん与えてくれる、めちゃ面白い本なのです。（総合経営学部 教授 下山 晃）



『移動祝祭日』

(新潮社, 2009.2)

ヘミングウェイ 著

高見浩 訳

請求記号:933/H52
登録番号:0436005

今回は読後に「じわじわ」と沁みる1冊を紹介したい。『老人と海』、『日はまた昇る』、『誰がために鐘は鳴る』などの長編小説で有名な著者であるが、本書は若き日のパリでの生活をまとめた自伝的エッセイであり、彼の遺作でもある。私はこの本のことを最近まで知らず、経営学者の大先輩である先生から教えてもらったのだが、何度も読み返したくなる本の中の1冊となった。

舞台は第一次大戦と第二次大戦の戦間期である1920年代、著者の20代前半パリでの修行時代、のちの代表作を生むきっかけとなる出来事が語られている。芸術（音楽や美術）や文学だけでなく、実はこの戦間期には多くの学問において、その分野で象徴的な学説

思想が誕生している。経営学では、「ホーソン実験」を基にした「人間関係論」がこの時期に成立した。

新しい芸術や学問が芽吹き地としてのパリとくれば、そこで修行する若者たちの華々しい姿を想像するかもしれない。ただ、第一次大戦を経験した当時の若者たちは「ロスト・ジェネレーション（自堕落な世代）」(本書の中では、「だめなやつら」と表現)と呼ばれ、悶々とした毎日を送っていたようだ。ヘミングウェイと「T型フォード」の修理工が、その典型として登場するのも経営学的には興味深い。著者がパリに渡ったのは22歳。同年代のみなさんは、これからの修行時代をどのように過ごし、何を考え、行動すれば良いのだろうか。

(総合経営学部 教授 河辺 純)



図書館利用と感染拡大防止—ガイドラインを守りましょう

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年8月、図書館を利用する際の注意事項等を「図書館におけるガイドライン」としてとりまとめ、公表しています(2021年2月改訂。要点は下表参照)。

図書館サービスの内容については、本学独自の活動制限レベルによって異なります。図書館利用の際は、本ガイドラインを守ってください。

活動制限レベル			0	1	2	3
入館制限	入館収容率		100% (400名)	50% (200名)	10%(40名)以下 事前予約制	0%
	利用者	学生	○	○	○	×
		教職員	○	○	○	△
		一般	○	×	×	×
入館経路		正面玄関	正面玄関	西側非常扉	—	
開館時間	授業期間中	月曜～金曜日	8:00～22:00	9:00～20:00	10:00～15:00 *2階のみ	×
		土曜日	9:00～18:00	10:00～17:00	×	×
		日曜日・祝日	9:00～18:00 *2階のみ	10:00～17:00 *2階のみ	×	×
	授業期間 以外	月曜～金曜日	9:00～18:00	10:00～17:00 *2階のみ	10:00～15:00 *2階のみ	×
		土曜日	9:00～18:00	×	×	×
		日曜日・祝日	×	×	×	×
利用 サービス	視聴覚資料閲覧		○	○	×	×
	郵送貸出		×	×	○	○
	検索用PC		○	○	×	×
	ノートPC		○	○	○	×
	相互利用		○	○	○	×
	コピー機		○	○	○	×

デジタルデータ閲覧サービスを活用しよう

大阪商業大学のネットワークに接続されたパソコンから、図書館WEBページを経由して記事検索などの外部データベースや電子書籍を閲覧できます。

「学外」からは、下記の方法で閲覧することができます。

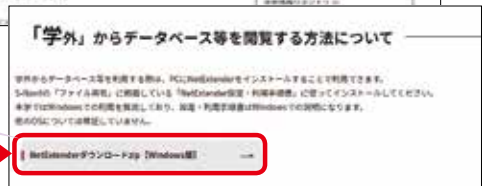


① 図書館のWEBページのトップページから、「デジタルデータ閲覧サービス」のボタンをクリック。

- ＜閲覧できるデジタルデータ＞
(一部抜粋)
- ・ Maruzen ebook Library(電子書籍)
 - ・ 日経テレコン21(新聞記事検索)
 - ・ 日経BP記事検索サービス(雑誌記事検索)
 - ・ Japanknowledge Lib(辞書・事典検索) 他

③ S-Navi!の「共有フォルダ」→「マニュアル」から、「NetExtender設定・利用手順書」をダウンロードし、利用手順書に従って設定する。

② 「学外」から検索・閲覧する場合はこちらをクリックし、お使いのPCに「NetExtender」をインストールする。



コロナ禍における図書館サービス

2020年1月、新型コロナウイルスが国内で初めて感染が確認されました。本学図書館では、利用者への感染を防止するため、3月9日から開館時間を前後1時間短縮し、同月20日には一般利用者へのサービスを停止しました。

4月7日、首都圏1都3県、大阪、兵庫、福岡の7都府県に緊急事態宣言が発出された後は、4月11日から5月31日まで、約50日間にわたり臨時休館としました。

こうした中、在学生に対する学修支援の観点から、5月12日より図書館資料の貸出郵送サービスを開始し、長期貸出の期限延長を随時実施しています。これ

らの施策は、大学構内への立ち入りが制限されている期間について継続しています。また、4月23日から研究図書の利用を再開しています。

このように、図書館では、大学の教育研究に不可欠な学術情報基盤としての使命を果たすべく、サービスを継続する方法を模索し、随時新たな施策を講じてきました(下表参照)。

2021年度も、本学の活動制限レベル(0~3)に応じて図書館の利用条件やサービス内容が変化する可能性があります。ホームページ等で確認のうえご利用ください。

活動制限レベル	年月日	図書館のおもな活動
	2020年	
1	3/9 ~	開館時間の変更 ・10時~17時
	3/20	一般利用者の利用制限開始(レベル0で再開)
3	4/11 ~ 5/31	図書館臨時休館
	5/12 ~	図書館資料貸出郵送サービス開始(レベル3と2で実施)
2	6/1 ~	大学内入構禁止措置解除に伴う図書館サービスの一部再開 ・事前予約制(座席指定) ・2階のみ自由閲覧 ・10時~12時、13時~15時の入替制(定員制限) ・体調申告書の提出(非接触型電子温度計設置)
		第1回図書館委員会開催
		図書除菌BOX設置
		「図書館におけるガイドライン」策定・公表
1	9/1 ~ 9/24	図書館サービスの一部再開 ・10時~17時開館(平日・2階のみ)
	9/4	非接触型温度センサー設置
	9/23 ~ 9/24	入学式開催にあわせた新入生向けの図書館見学会実施
	9/25	後期授業開始に伴う開館時間の変更 ・9時~20時(月~金) ・10時~17時(土) ・10時~17時(2階のみ)(日祝)
		ゼミ1Bでの図書館見学会実施
2	12/7 ~	図書館サービスの制限 ・事前予約制 ・10時~12時、13時~15時の入替制(定員制限) 返却遅延による罰則適用緩和
		第2回図書館委員会開催
	2021年	
	2/10	「図書館におけるガイドライン」改訂版の公表
1	3/3 ~	図書館入館制限の一部解除 ・10時~17時開館(事前予約必要なし) ・図書館資料貸出郵送サービスの停止

(注) 本学のレベルの呼称は、6/23まで「警戒レベル」、6/24から「活動制限レベル」。

2020年度 関連委員会報告

第1回 図書館委員会

2020年6月30日(火) S-Navi!上でリモート開催
議題:[審議]2020年度取書方針及び選書委員について、
[報告]①2019年度図書館事業、②同利用状況、
③2020年度事業計画及び中期計画 等

選書委員会議(図書館委員会内)

2020年11月17日(火) 12:10~ 図書館6階多目的室
議題:①選書の取組み状況と検討項目、
②選書委員による選書状況と実績 等

第2回 図書館委員会

2020年12月15日(火) S-Navi!上でリモート開催
議題:[報告]①2020年度特別研究図書選定結果、
②事業中間報告、③今後の事業 等

第1回 学術情報リポジトリ運営委員会

2021年3月18日(木) 10:30~ 図書館6階多目的室
議題:[報告]①JGSSダウンロードシステム、
②学術情報リポジトリの登録状況、
③学術情報リポジトリの登録対象 等

第6回大商大プチエッセイ大賞 受賞作品決定

大商大プチエッセイ大賞は、本学学生がエッセイという形式で自分の考えていることや感じていることを、自由に表現する文章力を身につける機会をつくることを目的に、2014年度から実施しています。

第6回の今年度は、コロナ禍でありながらも35件の応募がありました。審査委員会による厳正な審査の結果、次の9点が受賞作品に選ばれました。

2021年2月8日(月)にオンラインで授賞式を開催し、受賞者は、オンラインで4名、会場とした図書館6階多目的室に1名の参加のほか、ビデオレターでの出席もあり、華やかな授賞式となりました。受賞作品は、4月15日(木)から図書館2階館内掲示板で掲示しますので、ぜひご覧ください。

(学年：受賞時、P.N.：ペンネーム)

図書館長賞

「ないものねだり」 経営学科4年 宮下 颯一郎

優秀賞

「モノ＝ココロ」 経営学科4年 おかや じゅうろうさえもん (P.N.)
「私の距離感」 経営学科4年 大沼 光
「大人になりつつある私が、いま図書館に行くべき理由」 経済学科2年 錯多 あわ (P.N.)

審査員特別賞

「大学一年生の私が今思うこと」 経営学科1年 田辺 美優紀
「激動する令和！新たななる挑戦」 経済学科3年 ベガ (P.N.)
「人生」 経済学科1年 柴犬 (P.N.)
「緊迫のおうち時間」 商学科4年 岩井 泰樹
「図書館の魅力-本は読んでおいた方がよい-」 商学科3年 北野 菜穂

LSS(図書館学生スタッフ)募集！

図書館では、図書館主催イベントの運営サポートや、より多くの学生が図書館を利用してくれるよう、館員と一緒に考え、提案してくれる学生スタッフを募集しています。

本が好きな人はもちろん、図書館の仕事に興味を持った方は、大阪商業大学図書館学生スタッフまで！

一緒に図書館を盛り上げましょう！

LSS(大商大 図書館学生スタッフ)

Twitter：@LSS_daishodai

<活動内容>

- ・学生選書ツアー、読書会の運営サポート
- ・POP作成、ポスター作成、イベントの企画 など



新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開館時間が変更になっています。
詳細は図書館1階掲示板・館内配布チラシ・図書館ホームページ等をご確認ください。

【編集発行】大阪商業大学図書館

大阪商業大学図書館報「ブック村だより」第53号 令和3年3月31日発行

〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10

TEL：06-6781-5280

E-mail：lib@oucow.daishodai.ac.jp

URL：https://ouc.daishodai.ac.jp/lib/

Twitter：@OUC_Lib

QRコードを読み取ると、
図書館ホームページへ
アクセスできます。



ISSN 1346-8928